

16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

●は閉庁日です。

**テレホンカード  
花暦シリーズ発売**  
☎ 振興公社事業第二課 35-0685

施設利用振興公社は、テレホンカード花暦シリーズ第12弾として「カトレア」を12月16日より販売します。



**販売枚数** 450枚  
(1枚 500円、50度数)

**販売場所** 富士市民センター、市立富士体育館、ラ・ホール富士、温水プール、陸上競技場

---

**ホームヘルパー・ガイドヘルパー募集**  
☎ 社会福祉協議会 64-6600

◎常勤ホームヘルパー  
**募集人員** 1人  
**対象** 市内在住の45歳までの健康な女性

◎非常勤ホームヘルパー  
**募集人員** 若干名  
**対象** 市内在住の健康な人

◎ガイドヘルパー  
**募集人員** 若干名  
**対象** 市内在住の健康な人

**仕事内容** 身体の不自由な人が、通院や冠婚葬祭などの外出時の付き添い  
～各ヘルパーとも～

**申し込み** 1月20日～24日に社会福祉協議会へ(保健女性センター3階)

\*ホームヘルパー2級・3級課程修了者を望みます  
\*非常勤ヘルパー、ガイドヘルパーは事務局から要請のあった日に活動します

**「NHK海外たすけあい」へのご協力を**  
☎ 社会福祉課 内線 2312

海外の恵まれない人々に援助の手を差し伸べる「NHK海外たすけあい」が、ことしも12月1日から25日まで実施されています。義援金は自然災害や戦争・紛争などの犠牲者に対する国際救援事業や発展途上国を対象とした開発協力事業の充実、発展に役立てます。義援金の受付窓口は、郵便局、銀行、農協などです。皆さんの温かいご協力をお願いします。

---

**電話加入権の公売**  
☎ 収税課 内線 2364

市は、富士財務事務所などと合同で差し押さえた電話加入権を公売します。

**とき** 12月17日(火) 10:40～11:00  
**ところ** 富士総合庁舎 301会議室  
**問い合わせ** 富士財務事務所 納税課 ☎65-2123

---

**刺激空間  
青年教養講座**  
☎ 青少年課 21-6129

講座	と き	曜日	回数	定員
パソコン(一太郎中級)	1月8日～3月12日 19:00～20:50	水	9回	8人
エアロビクス	1月8日～3月12日 19:30～20:50	水	9回	20人
英会話(ビギナー)	1月10日～3月7日 19:00～19:50	金	9回	15人
英会話(中級)	1月10日～3月7日 20:00～20:50	金	9回	15人

**対象** 市内在住・在勤の15歳～30歳の未婚の人(中・高校生は不可)  
**ところ** 青少年センター **受講料** 750円(保険料と利用者会費)  
**申し込み** 12月15日の9:00から受け付けます。直接青少年センターへ(先着順。ただし、受付開始時に定員を超えている場合は抽せん)

**振興公社スキー教室**  
☎ 振興公社総務課 61-7707

**とき** 1月24日(金)～26日(日) 車中1泊  
**ところ** 苗場スキー場(新潟県)  
**対象** 市内在住・在勤・在学の初心者、初級者  
**定員** 38人(先着順)  
**参加費** 2万5,000円  
\*昼食代、リフト代は自己負担  
**申し込み** 12月15日～1月15日に申込金5,000円を持参し、富士市民センターへ

---

**富士市スポーツ祭「スキー」**  
☎ 体育振興課 内線 2727

**とき** 1月26日(日)  
**ところ** 富士天神山スキー場(山梨県)  
**対象** 小・中・高・一般  
**競技種目** 大回転  
**申し込み** 1月15日までに富士市中里461 飯塚久義方へ ☎34-2684

**我が家の地震対策 NO.19**

阪神・淡路大震災を教訓に  
**地震の被害③**

強烈な地震動は、地表の建物だけでなく、地盤も揺り動かします。地盤の被害には地割れ、液状化現象、斜面崩壊などがあります。

このうち、液状化現象や斜面崩壊は大きな建物被害に結びつきやすく、また斜面崩壊は、建物だけでなく人命にも被害をもたらすこともあります。

**地盤の災害(斜面崩壊)**

斜面崩壊は、地震と同時に発生することが多く、避難する余裕はほとんどありません。また、地震で地盤が緩み、余震のときや、何年もたってから大雨のときに崩れる場合もあり、地震の後も長年の注意が必要です。

豪雨に対する補強工事がしてある急傾斜地も、地震に対する強度には限界があります。このため、急傾斜地の周辺区域は要避難地区に指定されていて、東海地震の警戒宣言が発令されたときは、すぐに避難しなければなりません。

急傾斜地崩壊危険区域に住んでいる人は、自分の住んでいる土地の持つ危険性を認識し、ある程度の建物被害を覚悟し、被害を軽減させるための家庭内対策や家屋の補強のほか、避難対策を考えておきましょう。

